



檜枝岐村立檜枝岐小中学校 小中一貫教育グランドデザイン - 水芭蕉プラン -



小中一貫教育基本計画

1 小中一貫教育の理念

- ◎ 中学校卒業までの育ちを小中9年間を見通した教育活動の中で支援し、知・徳・体のバランスのとれた人格形成を図る（人づくり）。
- ◎ 小学校・中学校のハード面、ソフト面の連携・協力により、豊かな学びを創造する。
- ◎ 地域と共に育む教育を推進し、郷土を愛する心を育てる。

2 教育目標（めざす児童生徒像）

～郷土を愛し、夢に向かって学び続ける子ども～
 （知）探求する児童生徒 （徳）まっすぐな児童生徒 （体）きたえる児童生徒

3 9年間で重点的に育む資質・能力

「15歳の春」を見据え自己マネジメント力を育成する小中一貫教育の推進
〔自己を理解し、目標を持ち、それに向かって立ち向かう力〕
 自己をよく理解し、目標に向かって、日々の学習や運動に精一杯立ち向かい夢を実現していく力
〔たくましい心と身体、向上心〕
 厳しい自然環境や変化の大きい社会の中でたくましく生き抜く力と互いに高め合う向上心
〔郷土を知り、伝え、愛する心〕
 檜枝岐の豊かな自然や文化を生かし、村のためにできることを行い、郷土を誇りに思い愛する心

小中一貫教育推進内容（カリキュラム）

1 学習指導要領に基づく9年間を見通した教育課程の編成

- 小中学校9年間を連続した期間にとらえ、指導計画を作成し、それぞれの発達段階に応じた教育活動を進める。
 - 小中9年間を見通した各教科指導全体計画・年間指導計画の作成・実施
 - 小中9年間を見通した各種教育計画の作成・実施



2 小中教職員による学習指導

- 学習指導面において、中1ギャップの解消やより専門的な立場からの指導による学力向上等を図るために、中学校教員による小学校での教科担任制や小中教員のT・Tによる指導を行う。
 - 算数・理科・社会・外国語活動の中学校教員やALTによる指導
 - 国語・算数・体育の小中教員によるT・T指導
 - 各教科・活動における小中教員によるT・T指導
- 小中学校の学習の系統性を重視した授業の質的改善を図るために、小中合同の現職教育を実施し、発達段階に応じた学びを展開する。
 - 教育ICT、新聞を活用した授業実践・・・児童生徒の活用力を育成
 - 学習と子供をつなぐ課題提示の工夫・・・ねらいとまとめの意識した授業改善、主体的で対話的な深い学びの実践
 - 学習と子供をつなぐ場の工夫・・・主体的に学習に取り組む態度と他者と協働する意識を促す実践

3 小中教職員による生徒指導

- 生活指導面において、小中教職員全員が共通理解もと児童生徒一人一人に同一歩調で指導ができるように、小中合同の生徒指導協議会を実施する。
 - 小中全教職員による生徒指導協議会の実施
 - 小中それぞれの定期的な生徒指導協議会への小中の生徒指導主事の参加・・・（小）第3週月曜（中）毎週月曜

4 児童生徒の交流活動

- 異年齢集団の交流を通して、上級生輩から下級生が学ぶ機会を多くするために、小中合同での行事を実施し、できる限り、小中合同の縦割り班（ファミリー班）での活動を行う。
 - ＜小中合同行事＞
 - 入学式、卒業式、運動会、文化祭、各学期ごとの始業式・終業式
 - ＜ファミリー班での活動＞
 - 村内クリーン作戦、ボランティア活動、給食、清掃活動



5 郷土学習を大切に活動

- 自分たちの住む「ふるさと檜枝岐」に愛着と誇りがもてるように、小中9年間を見通して、伝統文化にふれる学習や自然体験学習を実施する。
 - ＜小学校＞ 村探検、郷土料理作り、曲わっぱ作り、尾瀬自然体験活動 など
 - ＜中学校＞ 檜枝岐歌舞伎体験、至仏山・燧ヶ岳・会津駒ヶ岳登山 など



6 学校・家庭・村が一体となった教育環境づくり

- 小中PTA組織による活動（奉仕作業・危険箇所確認など）
- 「24の力」の家庭への啓蒙
- 学校・家庭・村が一体となった行事（運動会や文化祭）の実施